

〈特集〉

道内の特別支援学校におけるICT活用実践

北海道室蘭養護学校の取組 (校長 星野 健史)

はじめに

本校は、昭和54年に開校した「平取養護学校白鳥学園分校」を前身とし、平成3年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。

現在は、知的障がいのほか、視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由・病弱など複数の障がいを合わせ有する児童生徒が在籍しており、医療的ケアの必要な児童生徒も在籍しています。

知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、個別のニーズに応じた内容と多様な集団での学習を通して、将来の社会生活や地域活動に参加する上で必要となる力や望ましい生活習慣を養うための教育を行っています。

1 研究の取組

本校では、令和3年度から「ICTを活用した効果的な学習活動の充実を目指して」を研究主題として、3か年計画で校内研究に取り組んでいます。令和3年度の校内研究では、教員の指導力の向上を重点として、ICTを積極的に取り入れている自校の教員を講師に、ICTの操作方法や実践例を交流する校内研修を行いました。実施した各研修とアンケート結果から、「教員のICTの活用方法への知識や理解の深まり」、「教員の意識の向上」、「ICTを使う場面の増加」の3点が成果として確認できました。



【実践交流会の様子】

年間を通じた取組として、研究部だよりを毎月発行し、実践事例の紹介を行っています。研究部だよりは、本校 Web ページに掲載し、保護者の方や関係機関等へ情報提供しています。

http://www.muroranyougo.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=154



2年次である令和4年度は、「全教員のICT活用を促進する」、「実践事例を蓄積する」、「児童生徒が主体となり、自らICTを活用できる授業づくりを行う」ことを重点として、「『主体的・対話的で深い学び』へとつながる授業づくりシステムの構築」を目指し、校内研究に取り組んでいます。

また、本校の研究に係り、北海道立特別支援教育センターから講師を招き、「中間報告会での助言」、「1月校内研究での講話」及び「3月研究のまとめでの助言」と年間を通じて連携を図りながら研究を推進しています。



【学校と北海道立特別支援教育センターをオンラインでつないだ研修会の様子】

2 ICTを活用した授業づくり・授業改善

「これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す」というGIGAスクール構想の理念に基づき、「従来の支援とICTの効果的な融合」をポイントに授業づくりを行いたいと考え、「ICT活用授業構想シート」を作成しました。

授業者間で本シートを活用しながら授業の打合せをすることで、従来の支援にICTによる支援を組み合わせることをねらいとしています。

【ICT活用授業構想シート】

学習の視点から見た情報活用能力一覧（参考例）
 北海道教育委員会では、文部科学省が作成した「情報活用能力の体系表例」により、小学校から高等学校までの各学校段階において、育成が求められる資質・能力の具体例を参考に作成しています。
www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp.xlsx (live.com)

ICT活用実践事例については、学部毎の研究グループによる検討を重ね、令和4年（2022年）12月に全校で研修会を実施し、各研究グループがICT活用に係る実践の発表を行いました。

指導実践の成果や課題、授業改善の経緯及び児童生徒の変容についてまとめた資料は、年度末に実施する意見交流の際の資料として活用しています。

実践事例提供協力者

- 小学部教諭 宮崎 満智子、高辻 賢司
- 中学部教諭 駒澤 綾子、加渡 元章
- 高等部教諭 渡部 佳穂里、池田 里奈

URL : http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=1075

【ICT活用実践事例】

3 成果と課題

児童生徒が主体的にICTを活用することを目的とした授業づくりに向けて継続的に評価・改善し、マネジメントサイクルを実施することができました。児童生徒の理解や関心の程度に応じた学びを模索し、児童生徒が主体的にICTを活用する姿勢や習慣を育み、経験を拡大できたことが大きな成果です。

今後は、情報活用能力の育成はもとより、教科指導の効果を高める視点を共有しながら授業目標の達成に向け、主体的・対話的で深い学びを推進する授業改善を図る必要があります。児童生徒が協働的に学び、思考力、判断力、表現力等を育成することができるICTを活用した授業づくりが課題です。

不易と流行を踏まえ、本校の教育活動の充実のために、今後とも北海道立特別支援教育センターをはじめとする関係機関との連携を通して研究を推進していきたいと考えています。

講評「学びの質を高める授業改善」

北海道立特別支援教育センター教育課主査 音羽 孝文

室蘭養護学校の実践は、校内において活発に実践交流会を企画し、全教員によるICT活用の充実を図るとともに、Webページで効果的な実践を広く公開するなど、本道の特別支援学校におけるICT活用を牽引するすばらしい取組です。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善においては、育成を目指す資質・能力を明確にし、児童生徒が各教科等の「見方・考え方」を働かせられるよう、単元の計画を適切に立てることが、学びの質を一層高める授業改善につながっていきます。

次年度の授業改善の取組が、児童生徒の学びの充実につながるとともに、成果を広く発信していただくことを期待します。